



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ステラケミファ株式会社

コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 深田 純子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務兼経理部長

(氏名) 宮下 雅之

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,802	△2.3	374	4.6	286	△59.8	475	10.7
27年3月期第2四半期	14,132	1.6	358	△50.0	713	19.9	429	31.7

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 459百万円 (50.8%) 27年3月期第2四半期 304百万円 (△54.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	39.67	—
27年3月期第2四半期	35.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	43,339	22,612	51.4	1,857.58
27年3月期	43,129	22,407	51.2	1,839.24

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 22,290百万円 27年3月期 22,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
27年3月期	—	17.00	—	21.00	円 銭	38.00
28年3月期	—	17.00	—	—	円 銭	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	円 銭	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,580	△2.7	575	512.0	687	△33.0	890	△32.7	74.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	12,300,000 株	27年3月期	12,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	300,469 株	27年3月期	300,469 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	11,999,531 株	27年3月期2Q	11,999,468 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策・金融政策の効果を背景に企業収益の回復や雇用環境の改善が続き、景気は穏やかな回復基調にあるものの、円安の進行に伴う原材料価格の上昇に加え、中国の景気減速や海外景気の下振れの懸念もあり依然として先行きは不透明な状況となっています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフック物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は138億2百万円（前年同期比2.3%減）となりました。主力の半導体液晶部門の海外向け販売や表面処理部門の販売が減少したことにより売上高が減少しました。

利益面については、不採算子会社の清算による費用削減効果により、第2四半期連結累計期間の営業利益は3億74百万円（同4.6%増）となりました。一方、原材料購入に充てる外貨の調達を目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前連結会計年度末と比較してデリバティブ評価益が減少し、その結果デリバティブ評価損が営業外費用に計上されたことから、経常利益は2億86百万円（同59.8%減）となりました。また、北九州工場の建設に伴い北九州市から受給した補助金収入を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億75百万円（同10.7%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月28日公表の平成28年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しています。

詳細は、平成27年10月30日付「平成28年3月期第2四半期連結累計期間予想値と決算値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,747	6,717
受取手形及び売掛金	6,350	6,394
商品及び製品	1,638	1,664
仕掛品	1,209	1,127
原材料及び貯蔵品	672	694
その他	850	855
貸倒引当金	△77	△81
流動資産合計	15,391	17,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,864	8,160
機械装置及び運搬具（純額）	10,138	9,161
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	805	148
その他（純額）	1,294	1,279
有形固定資産合計	25,569	24,218
無形固定資産		
その他	136	136
無形固定資産合計	136	136
投資その他の資産		
その他	2,073	1,653
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	2,032	1,612
固定資産合計	27,738	25,967
資産合計	43,129	43,339
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841	1,936
短期借入金	3,561	3,704
1年内返済予定の長期借入金	3,489	3,484
未払法人税等	118	286
賞与引当金	308	314
その他	1,386	1,091
流動負債合計	10,706	10,817
固定負債		
長期借入金	8,256	8,126
退職給付に係る負債	660	673
役員退職慰労引当金	509	518
資産除去債務	498	495
その他	91	94
固定負債合計	10,015	9,909
負債合計	20,722	20,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,180	3,180
資本剰余金	3,288	3,288
利益剰余金	15,362	15,584
自己株式	△496	△496
株主資本合計	21,335	21,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	22
繰延ヘッジ損益	—	△3
為替換算調整勘定	697	714
その他の包括利益累計額合計	734	733
新株予約権	3	3
非支配株主持分	334	319
純資産合計	22,407	22,612
負債純資産合計	43,129	43,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	14,132	13,802
売上原価	11,837	11,788
売上総利益	2,294	2,014
販売費及び一般管理費	1,935	1,639
営業利益	358	374
営業外収益		
持分法による投資利益	57	—
為替差益	158	336
その他	186	122
営業外収益合計	402	458
営業外費用		
支払利息	45	36
持分法による投資損失	—	148
デリバティブ評価損	—	337
その他	2	24
営業外費用合計	48	547
経常利益	713	286
特別利益		
固定資産売却益	7	6
補助金収入	—	480
特別利益合計	7	486
特別損失		
固定資産廃棄損	4	16
固定資産売却損	0	1
特別損失合計	4	18
税金等調整前四半期純利益	717	754
法人税等	311	300
四半期純利益	405	454
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	429	475

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	405	454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△14
繰延ヘッジ損益	—	△3
為替換算調整勘定	△104	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△3
その他の包括利益合計	△101	4
四半期包括利益	304	459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348	474
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	△15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717	754
減価償却費	1,683	1,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	13
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△33	9
受取利息及び受取配当金	△10	△16
支払利息	45	36
補助金収入	—	△480
為替差損益 (△は益)	△163	△48
持分法による投資損益 (△は益)	△57	148
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3	11
デリバティブ評価損益 (△は益)	△60	337
売上債権の増減額 (△は増加)	△171	△24
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29	35
仕入債務の増減額 (△は減少)	△149	77
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	40	△84
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△62	△109
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△87	64
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△233	21
その他	△111	△22
小計	1,358	2,545
利息及び配当金の受取額	145	16
利息の支払額	△41	△36
補助金の受取額	—	480
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	83	△117
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,545	2,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△122	△236
定期預金の払戻による収入	113	157
有形固定資産の取得による支出	△3,102	△657
有形固定資産の売却による収入	8	8
投資有価証券の取得による支出	△0	△40
その他の支出	△27	△52
その他の収入	16	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,115	△810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△881	144
長期借入れによる収入	3,049	1,815
長期借入金の返済による支出	△1,683	△1,950
配当金の支払額	△254	△254
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	228	△246
現金及び現金同等物に係る換算差額	134	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,206	1,888
現金及び現金同等物の期首残高	6,386	4,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,179	6,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	コス メ ティ ック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,781	2,137	—	48	13,966	165	14,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	1,649	—	—	1,657	110	1,767
計	11,788	3,787	—	48	15,624	275	15,899
セグメント利益 又は損失(△)	427	343	△239	△40	490	△137	352

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業、ムーンライト事業(蓄光製品の製造販売)およびエネルギーマネジメント事業(ネットワーク関連機器およびソフトウェア開発販売)を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	490
「その他」の区分の利益	△137
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	358

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,601	2,077	—	13,679	123	13,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1,578	—	1,582	100	1,682
計	11,605	3,655	—	15,261	224	15,485
セグメント利益 又は損失(△)	272	357	△258	371	△4	366

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業、ムーンライト事業（蓄光製品の製造販売）およびエネルギーマネジメント事業（ネットワーク関連機器およびソフトウェア開発販売）を含んでいます。

2. コスメティック事業は前連結会計年度をもって撤退しています。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	371
「その他」の区分の利益	△4
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	374

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「エネルギーマネジメント事業」について、連結子会社であるステラグリーン株式会社は平成26年12月31日付、STELLA GREEN KOREA CORPORATIONは平成27年1月31日付の株主総会にて解散を決議し、現在清算手続き中であり、重要性が低下したため、第1四半期連結会計期間より「その他」の区分に含んでいます。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。